



初めての一級小型自動車整備士が 岡山トヨタから誕生



「幻のライセンス」 一級自動車 整備士資格

「幻のライセンス」と言われ、いままでも一度も試験が行われていなかった一級自動車整備士資格の国家試験が平成十四年度にはじめて実施されました。これは、急速に普及している自動車のハイテク技術への対応した者に与えられる最高の資格です。第一回の技能検定合格者は全国で三三〇

人。総受験者数は九一〇七人で、合格率はわずかに3.6%。岡山県ではトヨタ系ディーラーのサービスマン二名が合格し、そのうち一人が、岡山トヨタサービス部の重松敬一技術相談グループリーダーでした。難関を突破した本人に聞きま

一級自動車整備士は、二級自動車整備士の知識・技術に加えて、以下の知識・技術が求められています。

- 電子制御装置の高度整備技術・故障診断技術
- 振動・騒音の高度整備技術・故障診断技術
- 新技術(低公害車等)に関する知識・故障診断技術
- 総合診断(問診・診断・整備計画)と整備結果の内容説明
- 環境保全
- 安全管理 等

すなわち、一級自動車整備士には、高度整備技術力に裏付けされたアドバイザー能力、環境保全、安全管理等、社会的に重要なテーマに貢献できる整備士として位置付けられています。

充実したサービス トレーニング環境

重松リーダーは昭和六十一年入社(二級整備士資格保持)、同六十三年にはトヨタ一級資格を取得し、平成五年には検査員資格合格。そして今回の第一回国家一級資格合格と、まさに順風の技術向上を実現してきました。「こうしてサービスマンとして着実に

歩めたのも、やはり岡山トヨタという環境があったからだと思います。なぜなら、第一にお客様の信頼あつてこそ考える会社だからです。このためサービスの充実・不断の練磨・向上というテーマ、もう創業時からの伝統として根付き、社の最も太い柱の一本となつていえるでしょう。もちろんサービス教育などの充実度も、地域トップクラスではないでしょうか。

岡山県で たった二人という 初回合格者

一級整備士の受験資格は二級取得者で実務経験三年以上の人が対象です。これとは別に専門学校生に二級取得後続けて二年勉強すれば実務経験なしで一級の受験資格が与えられる制度ができました。

今回の初回試験の実施を受け、自動車

技術関係の専門学校が、すでに一級用カリキュラムを構築し、四年制(二級は三年制)での教育をはじめます。これにより全国の一級整備士は近々のうちに数千人規模になり、このサービスマンにも、二名は配置されるという状況になってい

く、環境問題等へのサービス・お客様の対応も必要だと感じています。二級と一級の違いでもそんなに珍しいものではなく、ますますと重松リーダー。しかし、岡山県でたった二人という「国家一級初回合格」の栄誉は、今後も色あせぬことと決まっています。



岡山トヨタ自動車
サービス部
技術相談グループリーダー
重松 敬一